

## 昭和初期お正月

監査役 宮本洋子

今年のお正月は雪のないおだやかなお正月だった。そんな安らぎの中で昭和初期の我が家のお正月を思い出した。

朝起きて晴れ着を着る。真新しい羽織姿の父親が灯明、お供えの上がついている神棚、仏壇をお参りする。家族が次々にその後に従った。昔の町屋作りは天井が高く、風は表から裏までスースー通り抜ける。暖房は囲炉裏の炭火と四角い木製の火鉢だけであったが、それが当たり前でそれ程寒さは感じなかった。

茶の間には、父と跡継ぎの私の二人前のお膳が用意されている。商家では皆そうだったかは定かではないが、お膳には「塩小豆餅」と小皿には「削った黒砂糖」があり中皿には味噌の入った「茶色っぽい大根おろし」だけだったと記憶している。

きつと質素を論ず教えるのではないかと思われる。それらを行儀よく正座して食べるのである。父親と向かい合わせに座っていると、何となく子供心に偉くなった様な気がしたものであった。

外の家族は（住み込みの番頭さんやお手伝

いさんも含）は囲炉裏のある台所でお膳を並べて多分同じものを食べていたのだろう。

翌二日の朝は子供たちの桜あめ売りがある。朝の暗い内から「さくらあめ、サクラアメ」と街中を触れ歩くのは、商家の男の子（九才から十三才位）である。後に女の子も加わり私もその仲間に入りたいと思ったものでした。近所のお菓子屋さんから仕入れて倍位の値段にして売ったのだそうです。縁起物だと買った家では神佛様に一、二個ずつお供えをしました。子供達はその利益で書初め用の筆や紙を買ったのです。商家では「商いの習いそめ」と言う行事だった様でなつかしく思い出される昔の正月の話です。



## 新入社員です！

初めまして、設備工事に所属している

佐藤久勝です。

以前、同じ職種の仕事をしていたのですが、この年で、また一から出直す事はとても



大変な事でした。すぐにでも対応できるものと思っていました。が、なかなか思うようにいかず不安や戸惑いも有りました。そんな中、入社以前より宮作には二、三名の知り合いがいて、その皆様からの励ましの言葉や助言を頂き、何とか見習い期間の三ヶ月を無事クリアする事が出来ました。現在、正社員になって三ヶ月目です。

まだまだ各部署の皆さんやお客様、業者さんとのコミュニケーションが少なく努力が必要だと思つて、日々頑張つています。ご協力よろしく願ひいたします。

さて皆さん、今年は異常気象のせいインフルエンザや今までなかったことのない花粉症の人も増えていきます。

皆様も体調管理には十分留意して下さい！

村上給油所 長田泰祐

子供の成長は本当に早いもので、あっという間に娘も二歳になりました。

生まれる前あれこれ考え“萌愛(モエ)”と名づけ、我ながら可愛らしく良い名前をつけたと大満足していたのですが、少し経つと“秋葉系”なんてものが流行りだしてしまい、あっという間に日本中“萌え〜♥”のオンパレード！！

その年の流行語大賞こそ免れたものの、何とも複雑な心境だったのは言うまでもありません。娘の名前を聞き、絶対に“秋葉系”が頭をよぎっているはずなのに、それに触れる人は誰一人といなくみんなイヤツだなあと思うのと同時に、気を使ってくれている事も伝わり、またまた複雑であったりもしたものです(笑)

★2006・SUMMER★

名前を付けるって難しいですね。

一応付け加えておきますが、もちろん私は秋葉系ではありませんので誤解のない様お願いします。今では秋葉系ブームもだいぶ下火になってきましたが、我が家の“モエ”は日々パワーアップしています。

最後になりますが、10月に第2子が誕生します。どんな名前をつけようか今から考えていますので楽しみにして下さい。



お父さんと萌愛ちゃん

## 社内連絡・編集後記

4月4日経営計画発表会を本社会議室（午後6時より）で行います。ファイルを必ず持参して下さい。

私が記憶している限りの暖冬少雪。この異常気象は今後どうなるのでしょうか？先々の不安もありますが、まずは現在のことから。資本となる身体の健康管理から始めましょう。

次号は常務、菅原孝一、河内順子、藤原和彦さんに原稿お願い致します。



### キクザキイチゲ

春早くに開花します。

我が家にも白と薄紫色の花が咲いていますが群生している所はとても清楚で美しい。